

テーマ

缶海苔製造ラインの改善による生産性の向上

千葉県海苔問屋協同組合 組合員企業

有限会社加藤海苔店

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への挑戦、取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員組合の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことです。この計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、課税の特例等の支援措置（新たな取り組みを公的にサポート）の対象となります。

公的な支援策として使える施策があるならば、これを上手く活用しない手はありません。皆さまの組合でも、組合員の経営革新を実現するために、是非とも中央会をご活用下さい。「経営革新計画」の策定は本会が無料でお手

伝います。

経営革新計画の認定によって行政や金融機関等からの支持を得ることで、組合員企業の新たな取り組みにおける「実行力」を強化しましょう。

申請のついでに？

当社は、昭和5年に海苔・お茶の小売店として創業しました。現在は小売店販売だけでなく他の小売店や飲食店への卸売も実施するなど事業を拡大しております。

しかしながら、昨今の家庭における海苔の消費は減少傾向を辿っている状況です。こうした状況を打開すべく、当社は海苔だけを食べるというコンセプトで「玄」という自社ブランドを数年前に開発、現在では年間35,000缶を販売するまでに成長しました。このことから、まだ家庭における海苔の需要を開拓できる余地はあるものと判断、新たな販路開拓としてコロナ（携帯電話の位置情報を利用したコミュニケーションゲーム）に店舗登録できたことで缶海苔の需要を更に増やすことにも成功しましたが、缶海苔の生産ライ

ンはその殆どが手作業工程であるため、生産性が低く、伸びている需要に供給が追い付かない状況に陥り始めておりました。

テーマ及び内容は？

1. テーマ

「缶海苔製造ラインの改善による生産性の向上」

2. 計画期間

▽平成23年4月～平成26年9月（4年計画）

3. 付加価値額の向上

▽計画時 16,854千円

▽計画終了時の目標伸び率 40,260千円（138.9%）

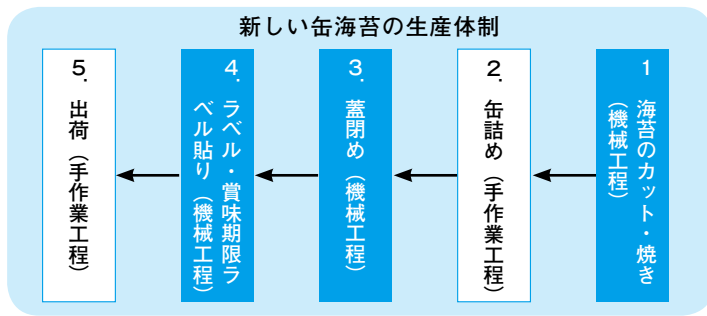
4. 内容

従来は、缶海苔の生産工程で機械化されている部分は限定的であったため、生産量を拡大するためには、新たな手作業スペースを確保した上で人員増または作業時間延長といった人海戦術による増産に頼らざるを得ませんでした。しかし、余分な作業スペースは殆どないに等しく、また、人員増や作業時間の延長といった固定費の増大は、売上高に占める

利益の圧迫要因にもなっていました。そこで当社は、新たに機械を導入することで、手作業工程の圧縮及び削減を実現し、それによって空いたスペースと人員を他の手作業工程に充てることで、人件費を上げることなく全体の生産量を拡大させ、需要増に対応することを計画しました。

新たな取り組みの特徴は？

今回導入する機械は、既存のローララベル方式を採用すると高額なセンサーを設置するなど導入コストが高騰してしまうため、当社



が現在行っている手巻き方式（ラベルの両端に糊を付け、片方は缶に、もう片方は缶を巻いた後にラベルに付着させる方式）を導入した新たな1枚バラタイプのラベルを貼れる機械を採用しました（低価格のラベル貼り機械の開発に成功）。

なお、この機械には、缶の裏面に賞味期間を印刷する機能を持たせる

ことで、少ないスペースで2工程分の作業が可能になりました。

今後の事業展開は？

この取り組みにより供給量が拡大するため、従来の需要増に対応するだけでなく、今後実施を検討している「海苔やお茶に特化したデリバリーサービス」、「百貨店・高級スーパーへの納入」、「海苔に係わる新商品の開発」といった新たな増収の仕組み確立にも注力していきたい考えです。

社長さんの一言

美味しい海苔を食卓へ！
生産者（漁師さん）が減っていく一方で、我が地元の海では、努力している有志の若い漁師もいます。

美味しい海苔、お客様のニーズにあった海苔をお届けしたくて、日々努力をしております。実は、海苔の消費自体は、コンビニエンスのおにぎり等もあって、決して落ち込んでいないのですが、家庭で食べる海苔の消費は、ずっと減少しつづけています。その中で、何とか家庭でも気軽に楽しんでもらえる商品



玄5缶セット

を作っていきたいと考えております。「海苔の良さをもっと知ってもらいたい。また、私たちが出来ることを工夫して、一人でも多くの人に海苔の美味しさを伝えていきたい。」と思っています。

中央会から

経営革新計画の千葉県知事認定を得ることは、一つの具体的な目で見える結果に過ぎません。大切なことは、経営者が変革し、その結果、従業員が、会社が変わること、環境変化の激しい経済社会に対応できる筋肉質な企業になることと考えます。

組合員の経営上の課題を解決する新たな取り組みを実行面からサポートする経営革新制度、ぜひご活用下さい。

◎経営革新計画に係る相談は、本会経営支援部まで。☎0433063282



企業プロフィール

組合名：千葉県海苔問屋協同組合
 企業名：有限会社加藤海苔店
 代表者：加藤 洋一
 所在地：市川市南行徳1-16-27
 電話番号：047-396-1188
 資本金：6,000千円
 従業員数：10名
 業種：各種食品小売業
 E-mail：yoichi@kato-nori.com
 U R L：http://www.kato-nori.com
 承認年月日：平成23年3月28日
 支援機関：千葉県中小企業団体中央会